

ALP・LDH・AMY の測定法変更に伴う基準値 変更のお知らせ

ALP(アルカリホスファターゼ)、LDH(乳酸脱水素酵素)、AMY(アミラーゼ)の測定法については、JSCC法(日本臨床化学会)が用いられてきましたが、国際的には臨床・学術面の両面で広く評価されているIFCC法(国際臨床化学連合)が採用されています。日本臨床化学会から測定方法をJSCC法からIFCC法に変更するとの発表がありました。これにより、日本国内のALP・LDH・AMYの測定方法が世界的に普及している測定方法に変わり、日本国内の測定値は各国の測定値と互換性を持つことになり、検査のグローバル化が進みます。

当院として、2021年4月以降の測定値の基準値変更を行いますのでお知らせいたします。

ALPについては、定値が従来の約3分の1となり、基準範囲も大きく変わります。

対象項目および変更内容

ALP(アルカリホスファターゼ)、LDH(乳酸脱水素酵素)、AMY(アミラーゼ)の3項目 JSCC法(日本臨床化学会)からIFCC法(国際臨床化学連合)への切り替え

変更の時期

2021年4月より変更開始

試薬変更に伴い共用基準範囲が採用される為、下記の通り基準値の変更が御座います。

検査項目	IFCC 基準値(新)	JSCC 基準値(旧)
ALP	38～113 U/L	100～340 U/L
LDH	124～222 U/L	115～245 U/L
AMY	44～132 U/L	37～133 U/L